

京市牛込區新小川町三ノ一四其社
 △藤府三千石以上の者を選び佛英留學を許す(慶應二) △米(昭和六)△英國下院日本品進出阻止決議案を採擇(同八)

臨時議會開かる

エム・エス生

岡田内閣最初の「リ」も想像されぬこと
 試験でも第六十の政友会として、民政
 六臨時議會は廿七の政友会として、民政
 日を以つて召集、黨と相容れぬものがあるに
 れ、廿八日午前十一時、臨時議會の開幕式
 一時、天皇陛下親臨、臨時議會の開幕式
 臨時議會の開幕式は、臨時議會の開幕式
 臨時議會の開幕式は、臨時議會の開幕式

潮聲

水 明

屏風のくらさになれて
 かな
 三春街道
 パス過ぎてゆれる道
 のさかな
 夕陽が掛懸ある破土
 犬吠の花ばかりなる荒
 野かな
 はひまもと花菱のたり
 蝶の飛ぶ
 爽かにキキの高鳴く朝
 かな
 何 鳴
 溪の音、すまじめる
 夜寒かな
 みなみに海菜や竹の
 春

題 菊

佐波 古 函 峯

籬下秋英放暗香、庭前高潔傲嚴霜
 古來占得君子位、共竹蘭梅標瑞光
 庭前培養幾秋英、紅白黃輪相與榮
 若使斯花語知己、古今唯獨有淵明

短 歌 會

十一月三十日在本社宛送付の事

一期日時 十二月二日(日曜)午前十時より
 一、場所 マダモホール
 一、題 (近作) 各二首以内
 一、會費 金二十銭

上野動物園

永井善太郎

ライオン
 吼えてみた。どこかで
 吼えてみた。こんなには
 無、ライオンは一度
 吼ひてみた。續けて、四度
 五度と
 ライオンは、谷に響いて
 こだまになつて歸つて來る
 自分の聲を聲きかたつた
 まれてまもなく、谷底へ

潮聲

水 明

屏風のくらさになれて
 かな
 三春街道
 パス過ぎてゆれる道
 のさかな
 夕陽が掛懸ある破土
 犬吠の花ばかりなる荒
 野かな
 はひまもと花菱のたり
 蝶の飛ぶ
 爽かにキキの高鳴く朝
 かな
 何 鳴
 溪の音、すまじめる
 夜寒かな
 みなみに海菜や竹の
 春

山の怪秘

丸山 寛 雄 作

戸隠(50) 丸山 寛 雄 作
 奇譚(50) 丸山 寛 雄 作
 戸隠(50) 丸山 寛 雄 作
 奇譚(50) 丸山 寛 雄 作

河馬

河馬

河馬が水を切つて泳いで
 河馬が水を切つて泳いで
 河馬が水を切つて泳いで
 河馬が水を切つて泳いで



河馬が水を切つて泳いで
 河馬が水を切つて泳いで
 河馬が水を切つて泳いで
 河馬が水を切つて泳いで

「何と云つたつて、山には
 山の掬があるんだよ」
 ヤマトは極めつけるやう
 に云ひ放つ
 「その掬も俺は、知らねえ
 ことばねえ、だが、いくら
 掬があつても俺達人間をそ
 んなもので縛らうとするの
 は無理だ」
 仙藏の語氣はだんく荒
 くなつた

久野電気 工業所
 マグネット
 ダイナモ
 バッテリー
 試験機完備は確信を
 久野電気 工業所
 平野屋町
 (呼電三六六番)

高久病院
 内科 外科 小児科 皮膚科
 花柳病科 性病科
 院醫科性胃腸村松
 (番七〇一電町南町平)

お醤油は ヤマフル
 味噌醤油
 たひら正宗
 鹽屋
 山崎合名會社
 電話(本店)二七〇番
 (支店)三六六番

移轉御挨拶
 毎度御引立を蒙りまして難有く御禮
 申上ます。扱、従来の營業所は住宅
 が別で夜間御用拜向其他何か不便
 のため今年般左記へ移轉致しました。不
 今後共多少に不拘御用命の程伏而御
 願致します。

治角治株式会社
 本社 平野町五丁目(町役場向)
 本社 平野町五丁目(町役場向)
 電話七三番

銘木ト建築木材ノ御用命ハ
 今一番勉強スル當店へ
 内外銘木 平野屋町
 建築材一式 余織田材木商店
 便利一式 電話四六〇番
 極優良材基將盤アリ格安譲リタシ。

吸入用酸素
 モノサシ
 マカス
 ハカリ
 体温計
 寒暖計
 院醫波難
 小児科
 入院 應需
 自炊の便あり
 電話五〇二番
 士博學醫 睦 波 難

貴方の御家庭に
 お手不足は御座りませんか
 本會を御利用下さい
 直に家政婦を派出します。
 親切丁寧... 料金は極めて低廉です
 妊産婦の御家庭... 留守 居番
 御病人の付添... 年寄やお子さんの付添
 家事や雑用... 年寄やお子さんの付添
 効果... 年寄やお子さんの付添
 平野屋町二(電話二二二)

上原家政婦會
 會主 上原通子

製造販賣 金成國雅
 平野屋町 電話六八八番
 貨物自動車ノ御用命に應じます。

